



やはた

The Salvation Army YAHATA Corps



八幡小隊に関わりのある皆様

「そして、昼も夜もこの神殿に、この所に御目を注いでください。ここはあなたが御名を置くと仰せになった所です。この所に向かって僕がささげる祈りを聞き届けてください。」
歴代誌下6章編20節(新共同訳)

今年は、梅雨の間も猛暑になったりして、天候の変化が激しいですが、皆さんお元気でお過ごしですか？ 今月のニュースレターも、前回に続いて建物の歴史を記したいと思います。戦後80年の間に建てられた二つの会館について、丁度その間にあって八幡小隊長として任命された藤岡昭子少佐が、建築から20年後に発行された『八幡小隊90記念誌』に、その当時を振り返り書いておられますので、一部を抜粋して、紹介いたします。

― 新旧会館での思い出の一旦を記してみます。旧会館は1949年4月に救世軍が戦後復興の全国最初の会館として献堂した建物であったと聞いております。記録によりますと会館建築は祈りの中に進められ、資金調達は勿論のこと資材節約のために土砂集めなどを戦友方の奉仕により煉瓦2000枚は家庭団員が指先より血を流して戦災跡地から集めた貴重な奉仕によるものであった由、当時の様子を読み聞かされた時にその信仰と労苦の程を偲び心打たれたものです。私はその会館での最後の小隊長となりました。

新会館は1985年10月10日献堂式をしました。今から今年で満20年を迎える今日、当時と変わらぬ清潔整理を保っておられること、八幡小隊を訪れた人からその清潔管理の驚きを聞かされる時、私は大きな嬉しさを持つのです。新会館のため一丸となって信仰の献金をし、また全国の賛助者の献げもので溢れたのですが、その献身と感謝とを忘れずに神の宮としてご奉仕されています戦友の皆様方のご尽力を思い心からの敬服を抱いております。献堂式に際して故森山節治会計が達筆にてソロモンの祈り「どうぞ、あなたの目を昼も夜もこの家に、すなわち、あなたの名をそこに置くといわれた所に向かってお聞きください。どうぞ、しもべがこの所に向かってささげる祈をお聞きください」(歴代誌下6章20節 口語訳聖書)と書いてくださり、講壇正面に掲げ2～3年続けていたのが今も目に浮かんでまいります。この祈りが続き、八幡小隊会館の上に、神の御目の注ぎがあり、神の霊の家として末永く続きますように、会館のためにご奉仕されます戦友方のご尽力が嘉せられて、お報いの約束による神様の御祝福が豊かに注がれますように。(文：藤岡昭子少佐)―

その後、1995年には100周年記念集会在もたれ、今年で110周年を迎えました。会館も築40年ですが、神の宮として保たれていることに感謝します。今後とも、小隊の働きを覚えてお祈り、応援をお願いいたします。今月も、神様の御祝福をお祈りいたします。

■聖別会のメッセージ・八幡小隊ホームページのご案内
インターネット検索またはYouTubeの検索、救世軍八幡、または Salvation Army Yahata で視聴できます。

発行 2025年7月



福岡県北九州市八幡東区
昭和2-4-5

TEL (093) 652-1584

FAX (093) 482-5077

E-mail: yahata@jap.

salvationarmy.org

小隊士官 樋口和光

2025年救世軍標語
「信仰の遺産の上に築く」
(テモテへの手紙二1章14節)



1985年10月10日、新会館献堂式を行う

■八幡小隊のご案内

- 毎週日曜日10:30～11:15.a.m.
聖別会(礼拝)
- 毎週木曜日14:00～17:00p.m.
「心のオアシス」(フリースペース)
ぜひ、お出かけください。